

日・韓留学交流の現在と未来

今年3月、韓国のユン・ソンニョル（尹錫悦）大統領が来日し、両国間で「未来志向的な協力関係」が表明されたことで、前政権下では戦後最悪と言われた日韓関係も、正常化に向け一歩進んだとの報道がみられる。一方、コロナ禍が収まりつつある中、留学交流も常態に戻りつつあるが、ここ数年間、日韓間での留学交流の状況は大きく変化してきていると感じる。そこで、本号では韓国の留学政策の研究者で、現在、韓国の江原大学教育研究所で研究員として在籍されている内藤（塚田）亜弥子氏に韓国における留学交流の状況について、また、長年日韓留学交流を推進してきた釜山韓日交流センターのチャドンヨプ事務局長に韓国から見た日本留学の状況についてお話を伺った。

Interview

内藤亜弥子さん

江原大学教育研究所研究員

韓国における留学生受入れの現状・実情

韓国の高等教育への関心

——まず初めに、内藤さんが現在韓国の大学で取り組んでいる研究についてご紹介ください。

「地方創生に向けた地方地域大学の国際化に関する実証的研究—日本・韓国・台湾の比較—」（研究代表者：東北大学渡部由紀先生）の研究に参加し、韓国の地方大学の国際化が地域の活性化にどのようにつながっているか、地方大学を訪問してインタビュー調査を行っています。

また、韓国では2011年より留学生受入の質保証制度である「教育国際化力量認証制」

という制度が実施されています。私は博士論文で韓国の留学生受入れにおける量と質の両立に関する研究を行いましたので、引き続きそうした留学生受入の質保証に関する研究も続けています。

先日、韓国の大学教職員の方を対象に、日本の留学生政策と地方の留学生受入れについて発表する機会があったのですが、すぐに韓国教育部（日本の文部科学省にあたる）の委託調査を行っているという大学の先生から、問い合わせを頂きました。韓国でも地方活性化が深刻な課題となっていて、留学生受入れを通じた活性化を模索しているようです。昨年7月に文部科学省が発表した「高等教育を軸としたグローバル政策

の方向性」など、日本の留学生政策に高い関心が持たれているようです。

—— 内藤さんが韓国の高等教育に興味を持たれたのはどんなきっかけだったのでしょうか。

以前、貴協会のお力をお借りしつつ、職場で日本人学生のための韓国留学情報の調査を行ったことがきっかけです。ちょうど2004年に韓国で「Study Korea Project」という留学生政策が始まってしばらく経った頃でした。韓国人留学生の方の協力も得ながら、韓国の高等教育に関する政策的な資料の調査も行うことができました。この調査は文部科学省や大学の研究者の方々からも反響があって驚きました。

また、日本と韓国は同じアジアの非英語圏で、高等教育の8割が私学という共通点が多いので、外国人留学生受入れの在り方をはじめ両国間の高等教育を比較すると、それぞれの特徴をより深く探求することができるところが面白いと思っています。

韓国における留学生の受入れと質保証

—— 韓国の留学生の受入れ状況はどうなっているでしょう。

韓国では、2023年までに留学生20万人を誘致するという政策が進行中で、日本と同様に中国からの留学生が最も多くいます。続いてベトナム、ウズベキスタン、モンゴル、日本、アメリカの順となります。ウズベキ



(韓服商店にて)

内藤（塚田）亜弥子氏

独立行政法人日本学生支援機構で留学支援事業に従事しつつ、東京大学教育学研究科大学経営・政策コースで「韓国の大学における外国人留学生受入」の研究で博士号を取得。現在、韓国の江原大学教育研究所に研究員として所属。「コロナ禍における韓国の外国人留学生受入の現状と政策」（『国際教育』）等、日韓留学交流に関する著作、論文を多数発表している。

スタンは韓国企業の現地進出が多く、韓国留学への関心が高くなっているそうです。

韓国はコロナ禍の間も日本のような留学生の入国制限をしなかったもので、2022年現在の留学生数は166,892人になりました。ソウル市立大学をはじめ複数の大学関係者に聞いた話では、K-popなど韓流人気のためヨーロッパの大学からの交換留学派遣の打診がとて多くなっているとのこと。

韓国内外国人留学生数推移



韓国内留学形態別外国人留学生数

地域	語学研修	学位課程		その他 (交換留学等)	合計
		大学	大学院		
南アメリカ	373	284	346	211	1,214
北アメリカ	660	1,049	871	1,900	4,480
アジア	23,510	77,683	39,893	6,252	147,338
アフリカ	347	580	1,631	151	2,709
オセアニア	68	125	92	25	310
ヨーロッパ	2,236	1,267	982	6,356	10,841
合計	27,194	80,988	43,815	14,895	166,892

質の問題が言われるようになったのは2010年頃からだったと思います。それで先に述べた大学の留学生受け入れのための質保証の制度、教育国際化力量認証制度ができたわけです。(当初は外国人留学生誘致・管理力量認証制)

つまり不法滞在化する人が

また、韓国は大統領が交代すると政策が大きく変わりますが、ユン・ソンニョル大統領の下で昨年7月に発表された6大政目標、120国政課題に、留学生誘致拡大が含まれていて、引き続き積極的に外国人留学生の受入れが進められると思います。韓国人学生の海外留学が外国人の韓国留学より多いことで、教育収支に赤字が生じることがきっかけで留学生の誘致拡大政策が始まったのですが、学費値上げ制限による大学の財政難、学齢人口減少、地方活性化策といった様々な事情の下で、留学生受入れは引き続き拡大路線となりそうです。

——韓国では多くの留学生を受け入れて行く中で、留学生の質の問題も出てきていると聞いています。

多く出たことと、大学側でも特に学費収入が不足する地方の大学が、収入を得るために勉学目的ではないような学生を、斡旋業者を通じて多数受け入れているということで大きな問題になりました。

そこで2011年にその質保証の制度が導入され、そこから3年ほど大学はその指標に従って非常に厳しく管理されました。その結果、就労など本来勉学目的ではない人たちが入れなくなり、3年連続で留学生数は減ったんです。加えて大学は留学生を支援するための制度を作らなければならなくなり、2014年くらいまでは質の底上げがなされました。

一方では政策推進上、留学生数が減るのは困るという政府の立場もあり、3年後に政策を緩和したわけです。質を上げるとい

うよりも、最低限の質は確保してほしいというようなシステムに制度の位置づけが変わり、そこから再び留学生数が増え始めました。しかし手綱を緩めたために再び同じような問題が発生して、2019年にはある大学で語学留学中のベトナム人留学生が大量に失踪するという問題が起きました。

どうしても机の上のみで制度を考えると、業者に利用されてしまうということも起きたりします。認定された大学に対してはビザ取得のための書類を緩和してあげようとなるわけですが、それを逆手にとられてしまうケースもあったということです。

—— 韓国の留学生数は2011年から14年まで8万5000人ほどで、減っているというよりは横ばいですね。それが2015-16年で10万人くらいになっています。日本の留学生数はビザ政策の変更や天災によって大きく増減するのですが、それから見ると韓国の留学生数は非常に安定的に増えていますね。

つまり増やすことを前提に考えているという意識ではないでしょうか。留学生が大量失踪した大学などが出て、語学留学の制度をなんとかしないといけないとなりました。日本の場合、新たに語学留学する人に対しては日本語能力試験（JLPT）のN5をとることが条件になっていますよね。こ



第23回 KAIE（韓国国際教育者協会）年次総会（2023年1月12日）で発表する内藤さん

ちらも同じようなことをしようとしたのですが、経営がたちゆかなくなるという、大学の反対が凄まじかったらしく、結局そのような制度はできなくなった。

ですから増やすということが大前提で、その中であまりひどくならないように、あまりひどいと悪い評判がたってしまって学生が来なくなるので、そうならない程度に質を保ちつつ調整しながら受け入れを行ったため、大きな増減にはならずに来たのではないかと思います。

—— 日本の場合は数万人規模で増減していますから、結果、日本よりもスムーズに留学生数を増やしているように見えます。

日本とかなり違う部分として、学費の値上げが凍結されているということがあります。ですから大学によっては収入減で留学生の授業料が貴重な財源になっているという状況があると言えます。一昨年少有名大学

韓国内主要国別外国人留学生数

国名	中国	ベトナム	ウズベキスタン	モンゴル	日本	アメリカ	その他	計
2018	68,537	27,061	5,496	6,768	3,977	2,746	27,620	142,205
割合(%)	48.2%	19.0%	3.9%	4.8%	2.8%	1.9%	19.4%	100.0%
2019	71,067	37,426	7,492	7,381	4,392	2,915	29,492	160,165
割合(%)	44.4%	23.4%	4.7%	4.6%	2.7%	1.8%	18.4%	100.0%
2020	67,030	38,337	9,104	6,842	3,174	1,827	27,381	153,695
割合(%)	43.6%	24.9%	5.9%	4.5%	2.1%	1.2%	17.8%	100.0%
2021	67,348	35,843	8,242	6,028	3,818	2,218	28,784	152,281
割合(%)	44.2%	23.5%	5.4%	4.0%	2.5%	1.5%	18.9%	100.0%
2022	67,439	37,940	8,608	7,348	5,733	3,369	36,455	166,892
割合(%)	40.4%	22.7%	5.2%	4.4%	3.4%	2.0%	21.8%	100.0%

から「日本はどうしているのか？」というインタビューを受けました。その大学は上位ランクの良い大学なのですが、それにもかかわらず留学生の語学力が低く困っている、しかし入学の語学レベルを上げると他の大学に取られてしまうと。そこでは大学経営の話が出てくるわけです。

2016年に、政府が留学生の学費の値上げを認めたので首都圏の大手私立大学は留学生の学費を上げました。ある大学では学部1年時に高額な学費とする代わりに、1年間で集中的に語学教育や初年時教育を行う、プレミアム1年生教育というのを売りにしています。

留学生受け入れのための認証基準は

——学部入学の場合、日本であれば日本語学校や大学の別科などを経由して進学するのが一般的ですが、韓国の場合はどうなのでしょう。

例えば語学レベルの入学基準を高めにしている大学の場合は、語学堂*などを経て入る留学生もいるのですが、韓国語があまり出来ないレベルでも受入れているケースが見られます。その中では受入れてから一定の語学レベルになったら授業を受けさせるという猶予制度を作っているところもありますし、出来ないまま授業に参加させている大学もあるようです。

ただ、あまりにも語学力の低い留学生の比率が高くと、認証制度に引っかかり、ビザが出なくなるということになります。そうすると留学生の受け入れ自体が出来なくなってしまうので、当然授業料も入らないということになります。それではどうするのかというと、韓国語能力試験は1～6級まであり6級が一番上で、5級くらいはないと正直なところ大学の授業を受けるのは厳しいと思いますが、3級程度で入学を許可して、卒業時には4級になることを条件とする、という基準を設けている大学もあります。

* 語学堂…大学が運営する韓国語学校。ほとんどの語学堂は大学のキャンパス内にある。

一方で、体育とか芸術といった語学力がそれほど重要でない学科の場合は2級レベルでも構わないとなっていますから、かなり低いレベルであっても入学させて、自分の大学の語学堂である程度勉強すれば学部に進学させるといったように、様々な方法で留学生を増やそうとしているのが現状だと思います。

——— 認証制自体がかなり緩いものかどうかということでしょうか。

芸術や体育なら2級に緩和してもいいというのは、あくまで“指針”なんです。

そして、経済学部とか経営学部といった分野に留学生が集中すると、授業が理解できない、意思の疎通ができない学生がいるなど、教員側の不満も大きくなるわけです。また、上位レベルの大学に語学力が低いと見なされる留学生が入って来ると、激戦をくぐり抜けて入学した韓国学生はグループワークで負担が大きくなったりするため、不満なわけです。ですから、そこで非常に反発が起きているという報道を見ることもありました。

それらの解決方法として、大学によっては留学生の授業料で収入が上がった分、その一部をチューターなどの採用に充てて、留学生のサポートをするといったことをしているそうです。

厳しい韓国内の就職状況

——— さて、次に韓国の大学卒業後の就職状況についてお聞かせください。以前、若い世代の就職活動はかなり厳しいと言われていました。現在も同じ状況でしょうか？

韓国の就職活動は大変厳しいと思います。2021年の就職率は67.7%でした。人気が大企業や「公企業」と呼ばれる政府系団体に集中しているからです。大企業への入社試験は、国家公務員上級試験のような超難関試験で、「サムスン試験」「ヒョンデ考試」と呼ばれたりしています。昨年春に新たな大統領が就任しましたが、「公企業」の採用数を絞り込む方針を発表しており、さらに狭き門となる可能性があるそうです。

一方、中小企業であれば、就職は可能という声もあります。ただ、以前調べたところ

高等教育機関就職者数の比率（韓国）

区 分	卒業者	就職 対象者	就職対象 者の割合	就職者	就職率	雇用状況 全雇用者に対する割合					
						健康保険 職場加入 者（会社 員等）	海外就 職者	農林水産 業従事者	個人創作 活動従事 者	個人起 業者	フリーラ ンサー
2021 (A)	549,295	473,342	86.2%	320,685	67.7%	289,809	834	575	2,672	5,954	20,841
						90.4%	0.3%	0.2%	0.8%	1.9%	6.5%
2020 (B)	553,521	480,149	86.7%	312,430	65.1%	284,359	1,131	641	2,843	5,317	18,139
						91.0%	0.4%	0.2%	0.9%	1.7%	5.8%
差 (A-B)	△ 4,226	△ 6,807	△ 0.5%	8,255	2.6%	5,450	△ 297	△ 66	△ 171	637	2,702
						△ 0.6	△ 0.1	0.0	△ 0.1	0.2	0.7

ろでは、中小企業の給与水準は大企業の6割程度に過ぎないという格差の大きさが問題となっているようです。そのような韓国内の就職事情の厳しさから、海外就職の斡旋紹介が行われており、かつては日本で就職する学生も多かったそうです。しかし、今は相対的に日本の給与水準が低いことや、円安となっている関係で人気が下がり、今まで日本への就職支援を行っていた斡旋業者が業態を変えないといけないというほど、人を集めるのが難しくなっていると聞いています。

—— 国内で就職できず、海外にも行かないとなると、アルバイトなどをしながら就職浪人をしているという人も多数いることになるのでしょうか。

韓国の場合、日本のように次の仕事に繋ぎ目なく移らないといけないという意識はあまりないのだと思います。ですから、就職準備中という人も多くいます。国内で就職できないのなら海外で働くという選択もあると思いますし、斡旋業者も“海外に出て経験を積みればそれが次に生かれます！”というキャッチフレーズを掲げていたりします。以前ほど海外志向は無くなってきているのかもしれませんが。

—— では韓国にいる外国人留学生の韓国内での就職というのはいかがでしょうか。

日本では外国人留学生の日本就職が奨励され、在留資格変更の許可率も高いですが、

韓国では韓国人学生自体の就職が厳しいことから、文系学部卒が多数を占める留学生が韓国内で就職するということは、在留資格の変更を含め容易ではないようです。ただし、地方では少子高齢化による労働力不足が起きており、特定の職業や地方で勤務する場合に限り、在留資格を認める制度の導入が行われているところです。

韓国から日本への留学

—— 実は留学統計では日韓間での留学生数というのは双方それほど多くありません。韓国から日本へはここ10年の間、1万5千人前後で推移していて増減はあまりありません。コロナ禍の影響もあり、日本語を勉強しに来る学生は減り気味です。

ご指摘の通り、日本に来る韓国人留学生数は、東日本大震災のあった2011年に減少した後は残念ながら停滞気味です。ただ、送出側の韓国から見ると、そもそも海外留学する韓国人学生数は、韓国教育部の統計では2011年に262,465人となったのを最後に減少傾向となっています。コロナ前で既に194,916人(2020年)、2022年の統計ではコロナの影響が加わって124,320人となりました。

一方、日本に留学している韓国人留学生数はコロナの期間でも著しい減少は見られず、一定数の規模を維持しているといえます。2020年と2022年の韓国人学生の海外留学のデータを見ていくと、最も留学生数の多い米国の場合、5.2万人(2020年)か

韓国人留学生数推移



地域別韓国人留学生数

(2022.4.1基準, 単位: 人)

地域	学位課程			語学研修等 その他研修	合計
	大学	大学院	小計		
アジア	26,659	4,163	30,822	7,513	38,335
北米	26,659	14,617	41,276	9,152	50,428
欧州	9,417	8,134	17,551	5,689	23,240
大洋州	9,845	854	10,699	853	11,552
アフリカ	18	7	25	434	459
中南米	63	78	141	165	306
合計	72,661	27,853	100,514	23,806	124,320

主要国別韓国人留学生数

(毎年4月1日基準, 単位: 人)

年度	アメリカ	中国	オーストラリア	日本	カナダ	ドイツ	フランス	その他	計
2020	52,250	47,146	13,026	18,338	16,325	7,066	7,090	33,675	194,916
割合(%)	26.8%	24.2%	6.7%	9.4%	8.4%	3.6%	3.6%	17.3%	100.0%
2021	49,809	26,949	13,726	15,785	12,220	7,444	4,024	26,563	156,520
割合(%)	31.8%	17.2%	8.8%	10.1%	7.8%	4.8%	2.6%	17.0%	100.0%
2022	39,491	16,968	10,119	14,247	10,885	6,466	4,507	21,637	124,320
割合(%)	31.8%	13.6%	8.1%	11.5%	8.8%	5.2%	3.6%	17.4%	100.0%

ら4万人(2022年)と1.2万人減少していますし、最も減少幅の大きい中国の場合、4.7万人(2020年)から1.7万人(2022年)となんと3万人も減っているんです。そうした状況を見ると、日本留学は安定的な人気を保っているといえるのではないかと思います。

—— 経済発展した結果、海外への憧れが全体として低下したということでしょうか。

今私が受入れてもらっているこの大学の交換留学担当の方に話を聞いたのですが、なにがなんでも海外に出るのが青春の証、みたいな感覚はなくなってきているようだ



江原大学教育研究所自席にて（2022年4月）

と話していました。

国の経済力が上がったという意味では、留学の形も先進国型になったということではないでしょうか。母国が発展して高等教育が充実し、良い職場がそこに出来た結果、あまり海外留学する必要性が見出せなくなってきたというパターンではないかと思っています。

今回こちらに来てみて東京で生活しているとあまり変化や差を感じません。逆に言うとう物価は非常に高く、安いと感じるのはニンニクと、エホバク（韓国カボチャ）というこちらが特産の野菜くらいです（笑）。その反面、もちろん給与も上がっていますが。

——— そうした状況下の中、どうしたら韓国から日本に来る留学生を増やしていくことができると思いますか。

母国が発展して、かつてのように日本で学びたい、就職したいという人は少なくなったと思うのですが、私が日本語を教えている学生は、「日本好きのファンという

のは常に一定数いる」と言います。日本への留学生がある程度のボリュームを維持しているという意味では、そうしたお互いの国のファンが交流を維持する力になってくれるのではないかと期待しています。

また、こちらで MBA（Master of Business Administration 経営管理学修士課程）の留学説明会がオンラインで行われたの

ですが、主催をした ETS（Educational Testing Service）の方によると、地理的に近く、教育の質が高い割に特に日本の国立大学は学費が高額ではないことから、他のアジアの国に比べて日本への関心が高かったそうです。つまり、学費が安くて質がいいということがポイントで、日本を最初から目指していた人たちではなく、留学先としてどこがいいか探していた人たちからの人気を博していたということですから、良いものをリーズナブルに提供するということが大切なのではと思います。もちろんそこで、生活も含め良い留学体験ができることが大切で、質保証はしっかりしなければなりません。

——— 数年前の激しい反日不買運動は記憶に新しいところですが、歴史問題を含めてこうしたことが日本留学へ与える影響についてはいかがでしょうか。

先日（2月4日）、3年ぶりに対面で行われた釜山韓日交流センター、在釜山日本国

総領事館共催の日本留学・EJU 説明会では、父兄から学生まで参加者が真剣な様子で説明資料スライドの写真を撮ったり、説明会後の個別相談に参加していました。

また、KBS（韓国放送公社 日本では NHK にあたる）で、有名シェフが留学した日本の辻調理師専門学校への母校訪問番組（2023 年 1 月 21 日放送）なども放映されていましたし、一時期の反日不買運動の雰囲気はほぼ下火になったように見えます。江原大学の交換留学担当職員の方も、学生の間では歴史問題に起因するような反日的な雰囲気が、留学の妨げになっているということはないと話していました。

日・韓留学交流の未来は？

—— 一方、韓国教育部の統計を見ると、日本から韓国へ留学する学生は 5 千人台へと増加しています。

統計を見ると、日本人留学生は 2022 年に過去 10 年で最も多い人数となりました。これは K-pop などの韓流の影響をはじめ、コロナの間に留学を見合わせていた人が一気に留学したためではないかと思います。それでも中国、ベトナム、ウズベキスタン、モンゴルに次いで 5 番目（3.4%）ですね。10 年前と比べてみて、日本からは大学生の短期留学や交換留学が増えたのではないかと思ったのですが、実際は学部への日本人留学生が 2 倍以上に増えていたのが驚きでした。

語学留学の 1 年間を含めたら卒業まで 5

年間かかるわけで、それほど長期にわたって韓国に留学する決意をどうやって固めているのか興味があるところです。今後詳しくその理由を調べてみたいと思っています。

一方で残念なことに修士や博士への留学は減少していて、韓国でより深く専門を学ぶ人が減る傾向になっているのではないかと危惧しています。

—— 最後に日・韓の留学交流に明るい未来は期待できるでしょうか。

留学交流に関しては、韓国から日本への留学が韓国の経済発展に伴って減少する一方、日本から韓国への留学生は韓流人気や短期海外留学プログラムの促進で増加しています。現在は両国間での留学生数が均衡する過渡期にあり、いずれは安定的な交流が維持される状態に落ち着くのではないかと思います。

このように行き来する留学生が隣国である両国の関係を良好に保つ“かすがい”となって行くのではないのでしょうか。

日韓両国の間では、時には歴史問題等をきっかけに政治的な緊張が生じることがあります。それでも留学交流を通じて輩出される人材が両国の架け橋となって相互理解を助け、明るい未来につながることを願っています。

—— 本日は長時間にわたりお話を伺いありがとうございました。韓国でのご研究の成果が上げられるよう、お祈りしております。

Interview

チャ・ドンヨブ 車東燁さん

社団法人 釜山韓日交流センター 事務局長・理事

韓国から見た「日本留学」のリアル

釜山韓日交流センターは韓国の外務省である外交部に登録されている社団法人で、2001年9月に設立されました。日本との貿易関連会社を長く運営されていた初代理事長が、韓日両国のために何か貢献できないかと考え、このセンターを設立されたとのこと。この釜山韓日交流センターの開設2年目から活動に参加、以来20年近く同センターを牽引し、現在は理事も務められているチャ・ドンヨブ事務局長に、韓国からの日本留学の現状、そしてこれからについてお話をうかがいました。



釜山韓日交流センターの活動

——最初に、貴センターの主な活動について教えていただけますか。

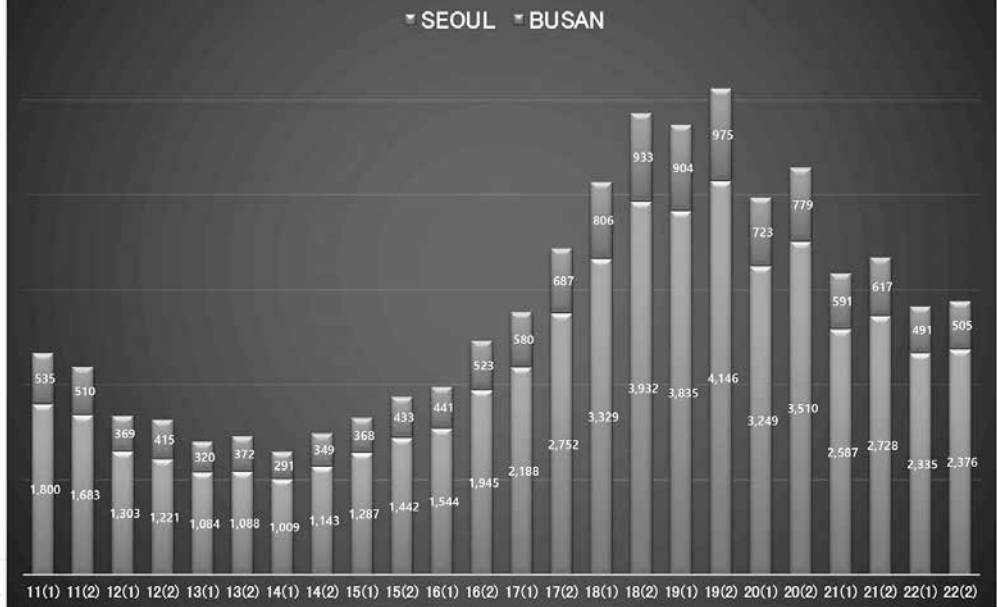
当センターの業務についてですが、まず最も重要なものが韓国における日本留学試験(EJU)*の実施です。EJUの実施団体はソウルと釜山にそれぞれありますが、当センターは在釜山日本国総領事館からの推選

で、韓国でのEJU試験が本格的に開始された2003年から釜山での実施を担当しています。

2番目は日本学生支援機構(JASSO)が主催している日本留学フェアです。韓国で行われるフェアは土曜日に釜山、日曜日にソウルと2日間行われますが、当センターは共催団体として参加するとともに、釜山開催の広報、運営についての全般的な業務を担当しています。コロナ禍の3年間は対

※ EJUは外国人留学生向けのセンター試験に当たる。日本の大学(学部)等に入学を希望する留学生が、大学等で必要とする日本語能力及び基礎学力の評価を行うことを目的に実施する試験。採用は大学や学部などによって異なる。

(図表1) 韓国内日本留学試験(EJU)応募者数の推移



(図表 車氏ご提供)

面での行事ができなかったのですが、今年から再開する予定で、実施日も8月5日に決まりました。

3番目は在釜山日本国総領事館との共催で年2回、日本留学説明会を開催しています。これもコロナ禍の3年間はオンラインで行っていたのですが、今年の2月に久しぶりに対面の説明会を再開し、7月にもう一回やる予定です。

4番目に高校生日本クイズ大会があります。これも在釜山日本国総領事館との共催で毎年行っている行事です。

最後に、日本留学資料公開拠点ということで、JASSOが指定する日本留学に関する拠点の一つとなっています。ここには日本留学についての様々な資料や日本の大学のパンフレットが置いてあり、いつでも閲覧

できるように公開しています。

これらが当センターの主な事業です。

日本を目指す韓国人学生

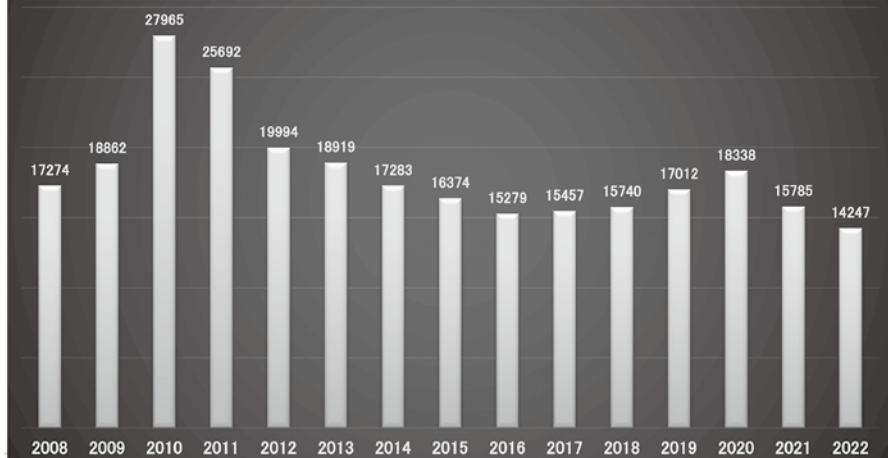
—— 日本へ留学する韓国人学生の状況はここ数年どのように変化しているのでしょうか。

図表1はEJU応募者数の推移を表したグラフです。実はこれ以前にはさらに人数が多かった時期もあったのですが、この表は2011年第1回からのデータになっています。2011年は東日本大震災があった年で、ここから数年間受検者数は減少しましたが、2014年の第2回試験から増え始めて、一番多くなったのが2019年の第2回試験でした。

(図表2)

年度別日本への韓国人留学生数の推移

(毎年4.1基準、単位:人)



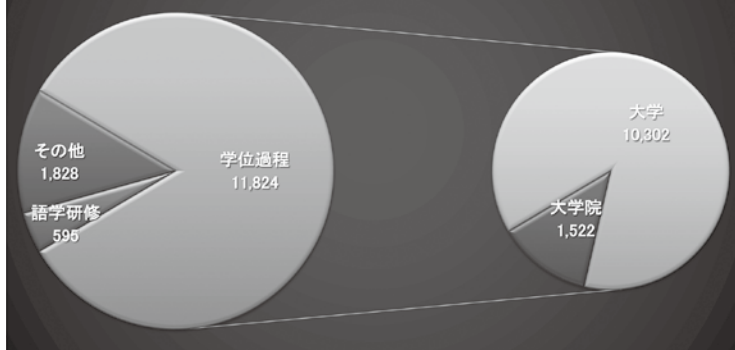
【出典】韓国教育部「2022年国外高等教育機関内の韓国人留学生統計」
<https://www.moe.go.kr/boardCnts/viewRenew.do?boardID=350&boardSeq=93468&lev=0&m=0309>

(図表3)

2022年課程別韓国人留学生の現況

(毎年4.1基準、単位:人)

■ 語学研修 ■ その他 ■ 大学 ■ 大学院



【出典】韓国教育部「2022年国外高等教育機関内の韓国人留学生統計」
<https://www.moe.go.kr/boardCnts/viewRenew.do?boardID=350&boardSeq=93468&lev=0&m=0309>

この時の人数はソウルが4,146名、釜山が975名で5,000人を超えました。

しかし2020年からはコロナの影響で再び減少し、去年2022年11月の試験ではソウルが2,376人、釜山が505人で合計2,881人ですから、この3年で半分ほどになってしまったということです。

図表2は年度別日本への韓国人留学生数

の推移です。こちらは2010年に27,965人で過去最高となりましたが、やはり震災の影響で翌2011年から減少しています。2020年にやっと上がり始めたところで、今度はコロナの影響でまた減少に転じてしまいました。2023年の数字も発表されましたが、わずかに2022年よりも減っています。

また図表3は2022年の課程別韓国人日本留学生数の現況なのですが、やはり一番多いのは学位課程在籍者で1万1824人です。一方で語学研修者数は少なく595名です。語学研修は以前に比べて減少しています。

——日本語学校を経ずに日本の大学を受

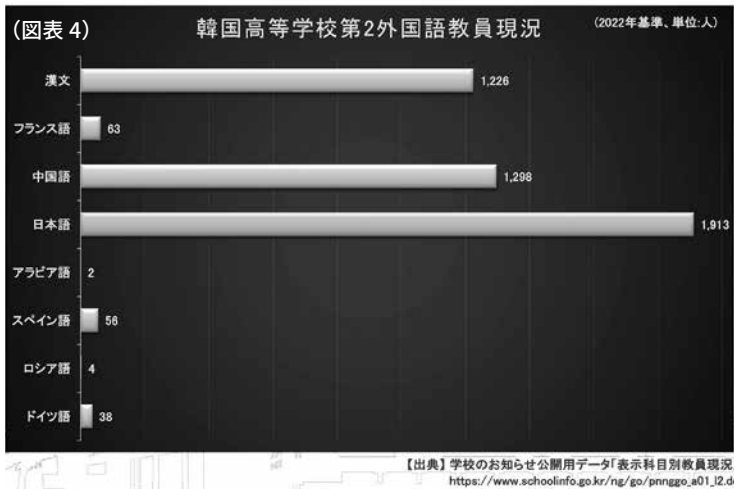
験する韓国人学生が多いということになりませんが、韓国内で十分に日本語力を身に付け、さらに EJU 対策の勉強まで出来るということでしょうか。

まず韓国での日本語の人氣がどれくらいかということで、現在の韓国の第二外国語（英

語以外の外国語）の教員現況を見てもらいたいと思います（図表 4）。これを見ると高校でどの第二外国語を選択している学生が多いかがわかると思いますが、日本語が最も多いんですね。次が中国語で、漢文というのは韓国式の漢文のことで教養科目になります。10 年ほど前になりますが、一時期は中国語が最も多かったのですが、今はまた日本語が逆転して最多になっています。

次に地域別の日本語学習機関数ですが、一番多いのは京畿道（キョンギドソウル周辺地域）で 31、ソウルが 28、釜山が 25 くらいです。これはポータルサイトに出ている数字ですが、私の感覚としてはこれより多いのではないかと思います。

このように、韓国の大都市はもちろん、中小の都市にも日本語学校は数多くありますから、韓国国内で日本語は十分に学習ができる状況と言えます。また、私たちが運営している EJU 受験のためのホームページには、EJU 対策を行っている予備校を掲載していますが、そこに掲載されている予備校の数はソウルが 19、キョンギドが 11、



インチョンが 4、釜山が 9、全国合わせると 62 ヶ所もあります。ですから、以前のようにわざわざ日本に行かなくても、国内のこうした専門の予備校に自宅から通って受験対策ができるというわけです。これがやはり日本で日本語学校に通う韓国人が減った大きな要因ではないかと思います。

もちろん EJU そのものの影響も大きいですね。EJU が出来る以前は日本に行き、日本語学校で日本語能力試験（JLPT）と小論文などの受験対策をするのが当たり前でしたが、EJU が出来てからは、韓国で高校に通いながら EJU 対策を予備校で勉強して、直接日本の大学を受験するという流れに変わったのだと思います。

—— 韓国の大学受験である大学修学能力試験（＝修能）はかなり難しいと聞いています。日本の大学を目指す高校生はこの修能の準備をしながら EJU の勉強もするのでしょうか。

高校 1 年生の中にはそうした学生もいる

釜山韓日交流センターが実施に携わる主な日本関連行事



①日本留学試験（EJU）②日本留学説明会 ③日本留学フェア ④高校生日本クイズ大会

かもしれません。しかし通常、日本留学を決めた学生は修能を諦めます。ですから日本留学を考えている学生は高校2年生の夏休みまでに、どうするかを決めなければなりません。修能とEJUの両方を勉強するのはとても無理なんです。

日本留学することに決めた場合も、学校の授業である修能対策のクラスには出席しなければなりません。そこでは自分で日本語を自習し、放課後EJUの予備校に行き4～5時間集中的に勉強します。

韓日で逆転した賃金

—— 4～5時間というのは凄いですね。
ただ現在、韓国の経済力が上がり、賃金も

日本より韓国のほうが高い傾向にあると聞いています。こうしたことが日本留学に及ぼす影響についてはいかがでしょうか。

図表5を見てください。これは学歴別の平均賃金を示した表ですが、私も韓国の賃金が日本を逆転したという話は聞いていたものの、これを見て驚きました。これは平均で、新卒の給与では無いのですが、全ての学歴で韓国のほうが高くなっています。

2020年に日本の大学を卒業して、日本企業から内定をいただいた学生がいたのですが、初任給は手取りで20万円に届きませんでした。それでも彼は日本での就職を希望したのですが、結局コロナの影響で渡日が出来ず断念することになりました。今は

(図表5) 学歴別平均賃金の日韓比較

韓国			
W 1 = ¥ 0.1 (2021年現在)			
学歴	男性	女性	男女計
高校	W 42,228,000	W 27,984,000	W 36,460,000 (¥3,646,000)
専門大学	W 48,264,000	W 33,072,000	W 41,710,000 (¥4,171,000)
大学	W 63,780,000	W 43,680,000	W 56,676,000 (¥5,667,600)

【出典】雇用労働統計
統計DB(賃金労働時間・雇員数及び勤労日数時間(2020年以降)学歴・年齢階層・経歴年数・性別別賃金及び勤労条件)
<http://laborstat.moel.go.kr/tmp/tblInfo/TblInfoList.do?menuId=0010001100101102&leftMenuId=0010001100101&bbald=>

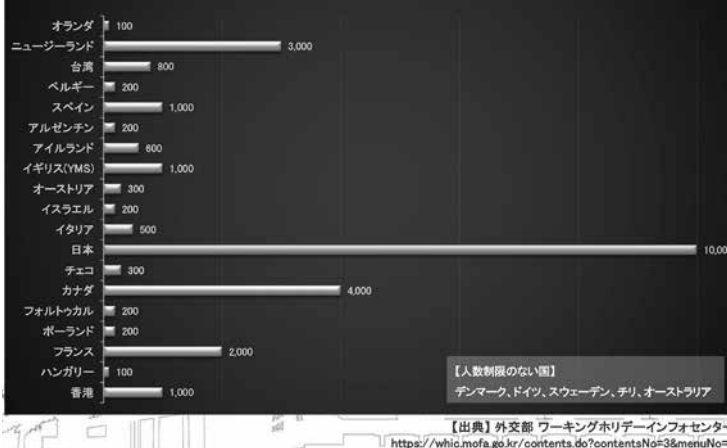
日本 (令和3年現在)			
学歴	男性	女性	男女計
高校	¥ 3,541,200	¥ 2,640,000	¥ 3,258,000
専門学校	¥ 3,712,800	¥ 3,177,600	¥ 3,460,800
高等専門学校・短期大学	¥ 4,148,400	¥ 3,151,200	¥ 3,470,400
大学	¥ 4,642,800	¥ 3,466,800	¥ 4,314,000
大学院	¥ 5,584,800	¥ 4,807,200	¥ 5,449,200

【出典】厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/tiran/roudou/chingin/kouzou/z2021/index.html>

ら、それなら日本に留学して就職したほうが良いということで、5-6年前までは日本留学を勧める空気がありました。それが、今は賃金格差がはっきりしてきて、日本では、就職はできるけど賃金が安く生活が苦しい、貯蓄も出来ないということで、留学すべきかどうか、迷っている人は多いと思います。

ただし、今、韓国から日本に行く観光客は非常に多いですね。コロナ渦の3年間日本に行けなかった分、今爆発しているという感じです。それはワーキングホリデーも同じで、図表6のように、たくさんの方々が日本行きを希望しています。

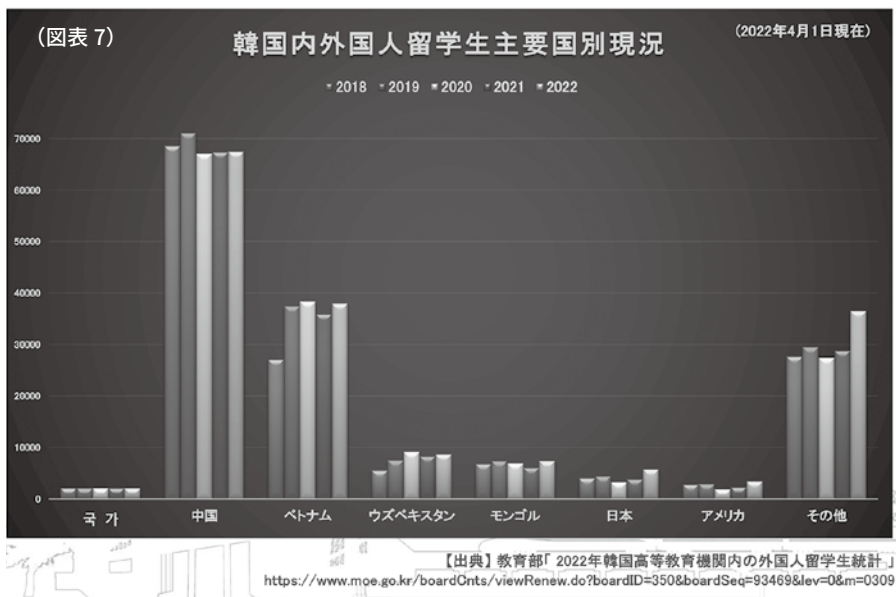
(図表6) ワーキングホリデー協定国別年間募集人員 (単位:人)



韓国の中堅企業で働いていますが、年収が4000万ウォン(約400万円)ほどですから、倍近いということになります。もちろん賞与や各種手当のことなどもあるので単純な比較はできませんが、やはり賃金差が日本留学を思いとどまらせる原因となる可能性は高いと思います。

韓国は若者の失業率が高い一方で、日本は人手が足りなく就職率が高い。韓国の親御さんもそうした情報は知っていますか

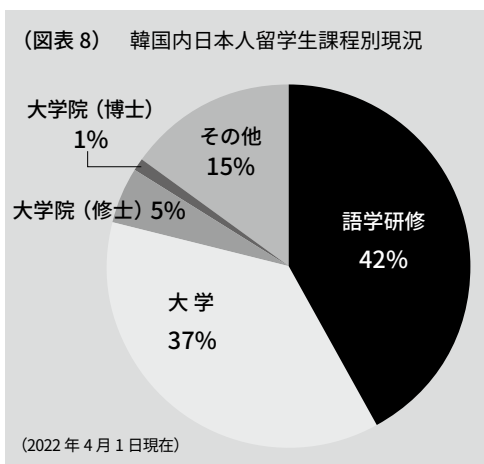
韓国はコロナ渦を経て物価が非常に上がっていて大変なのですが、日本は何年もあり上っていませんから、韓国人には安く感じます。加えて円安でもありますから、このチャンスに日本で暮らしてみたいという若者は多いわけです。もちろんこれは留学生にとってもチャンスです。好きな日本に手ごろなコストで滞在し、やりたい学問が学べる。まあ私の世代からすると、信じられないことです(笑)。



—— では留学後帰国する場合、日本の大学卒業生の韓国での評価はどのようなものでしょうか。

日本留学後そのまま日本で就職する韓国人留学生の割合は30～40%だそうです。それ以外の人は帰国していると思われますが、その場合、韓国の社会が日本の大学の卒業証書を韓国の有名大学のものと同様に認めてくれるかという、そうではありません。一番不利になるのは会社に先輩がいないということです。韓国の有名大学を卒業した人たちは各企業にいますから、そこに強力なコネがあるわけです。それがいないというのは一つの短所ではないかと思います。

日本留学生の場合は、日本の大学を卒業後、日本企業で経験を積んでから韓国の企業に移籍するというのが一番有利な流れではないかと思っています。日本と関連のある企業は、日本での留学と社会人経験のある



社員を純粋に戦力として評価しますから。加えて日本では有名な企業に就職できるチャンスも高いと思われますから、その意味でもメリットは高いということになります。

韓国人日本留学生のこれからは

—— 次に、韓国の外国人留学生動向につ

いてですが、なにか特徴的なものはあるのでしょうか。

韓国も日本同様に中国が一番多く、次ぎにベトナム、ウズベキスタン、モンゴル、と続き日本は 5 番目になります。日本からの留学生数は図表 7 の通り 2018 年で 3,977 人、2019 年が 4,392 人、2020 年で 3,174 人、2021 年が 3,818 人、そして 2022 年が 5,733 人です。多くはないのですが、去年はコロナ禍以前の数字を超えました。

次に日本人学生が韓国内のどの課程で学んでいるのかということですが、これは語学研修が最多で 42% です。韓国には延世大学などの有名大学が語学堂という語学学校を併設しており、そういった学校や街の民間語学学校で学んでいる人が多いということです。一方で、大学で学ぶ学生は 37% です。韓国人の日本留学生はほとんどが大学か大学院に在籍しており、語学研修は少なかったわけですが、韓国に来る日本人学生の目的は韓国語の勉強だということになります。ここが韓日で最も違うところだと思います。

—— 政治的、歴史的な問題からたびたび衝突が起り、また経済的なメリットもあまり感じられなくなったと思いますが、それでも日本へ韓国から留学する若者が一定数

いるのはなぜだと考えますか。

まず今でも日本のアニメを見て育ち、日本の文化に興味を持つ若者は大勢いるということです。そして何より日本は先進国ということです。ノーベル賞受賞者も数多くいますし、感情的な目で見ている人でなければ、日本にはまだまだ学ぶべきものがたくさんあると思っている人は多いと思います。

もう一つ、日本に多くの韓国人観光客が訪れる大きな理由に“アナログ感性”というものがあります。韓国は非常にデジタル化された国なのですが、デジタル化されたことが必ずしもいいこととは言えませんし、全てではないと思います。日本の魅力というのは伝統と現代が融合して、同じ場所に存在しているということです。それが韓国人を惹きつけるのだと思います。

韓日間の問題で国民感情が悪化する度に、今年の EJU 応募者数は著しく減少するのではないかと心配するのですが、実際はあまり変わらず受験者は集まります。それがこの 20 年間経験し、実感してきたことです。

—— 本日は大変貴重なお話を伺うことができ有難うございました。今後とも日韓交流の最前線でご活躍いただきたく、よろしく願いいたします。

社団法人 釜山韓日交流センター

〒 48508 韓国釜山広域市南区水營路 312,1015 号 (大淵洞, 21CenturyCity O/T)

TEL: 051-610-0900 FAX: 051-610-0901 E-mail: busan@kopan.or.kr

URL: <http://www.kopan.or.kr>